

2 環境基本計画

2 環境基本計画

(1) 第2次焼津市環境基本計画（抜粋）

基本理念

焼津市環境基本条例第3条で掲げている環境の保全及び創造についての基本理念を焼津市環境基本計画の基本理念とします。

1 市民が健全で豊かな環境の恵みを等しく享受し、将来の世代に継承する

私たちが安全で健康かつ快適な生活を送るためには、きれいな空気や水に囲まれ、豊かな環境の恵みを受けることが必要です。そして、豊かな環境の恵みは、現在の世代が、これを享受しながら将来の世代に継承していかなければなりません。

2 自然と人との共生を確保し、持続的発展が可能な社会を構築するために、すべての者が自主的かつ積極的に取り組む

海、山、川などの自然環境に恵まれた本市の地域特性を生かし、自然環境の保全を図りながら、人と自然との豊かなふれあいの場や機会を確保していくことが必要です。また、持続的に発展できる社会を実現するため、市民、事業者及び市は公平な役割分担のもとに、自主的かつ積極的に取り組むことが必要です。

3 すべての事業活動及び日常生活において、地球環境の保全を推進する

私たちの事業活動や日常生活は、地球温暖化やオゾン層の破壊などの地球環境問題を引き起こす原因になっています。このような問題を人類共通の課題として認識し、積極的に地球環境の保全を推進することが必要です。

望ましい環境像

望ましい環境像とは、環境課題を踏まえたうえで、本市がこれからどのような環境を目指して計画を進めていくのかを示す長期的目標です。基本理念のもと市民・事業者・市の各主体が自らの役割を果たし、将来の望ましい環境像の実現を目指します。

【焼津市の望ましい環境像】

「みんなでつくる 豊かな自然と心なごむまち やいづ」

～人と地球にやさしい環境を 未来へつなぐために～

環境目標と取組の方向

望ましい環境像を実現するための柱として環境目標を定めます。さらに、環境目標をわかりやすく示すため、焼津市環境市民会議で検討した環境目標ごとの将来イメージを示します。

1 安心・安全なまちをつくる

私たちの体や健康的な暮らしを支える原動力となっている汚染されていない水や土、空気を将来の世代に継承するためにも、環境への負荷を低減し、安全・安心なまちづくりを目指します。

【市民の考える将来イメージ】

- ❖ 使った水は、全ての家庭で公共下水道や合併処理浄化槽によって処理されている。それにより、川は子どもたちが水遊びや泳ぐことができる水質にまで改善している。澄んだ水の川には、魚がたくさん泳いでいるのが見える。
- ❖ 大気汚染が改善し、空気が澄んで空がきれいになっている。また、臭気対策が進み、空気がおいしいと感じる。
- ❖ 生活道路と通過道路の分離や電気自動車の普及などが進み、自動車による大気汚染や騒音が改善されている。
- ❖ 使用している有害化学物質の種類が現状より少なくなっている。

2 自然共生社会をつくる

生物多様性が適切に保たれ、自然の循環に沿う形で農林水産業を含む社会経済活動を自然に調和したものとし、さらに自然とのふれあいの場や機会を確保することのできる社会づくりを目指します。

【市民の考える将来イメージ】

- ❖ 今以上に豊かな自然のあるまちになっており、あらゆる生物との共生ができています。さらに、焼津市に昔から生息していた動植物が増加・再生しているのと同時に、外来種の量が大幅に減っている。
- ❖ コンクリート製護岸の河川から、自然動態を残している河川になり、淵が復活している。川辺には緑があふれ、清流の中で子ども達が遊んでいる。川の中を見るとメダカやスナヤツメが泳ぎ、ホタルが自然発生して乱舞するようになっている。
- ❖ きれいな海から採れる海産物は新鮮でおいしく、磯や浜で遊べる海になっている。
- ❖ 耕作放棄地の再生が進み、田畑が守られている。田んぼにはトンボ、カエルやドジョウなど多くの生き物が見られる。多くの人が土に親しみ、元気と健康を取り戻している。
- ❖ 市中心部の川や木々は整備され、自然を生かした公園がたくさんあり、とても気持ちよいと感じる空間になっている。

資源採取から生産、流通、消費、廃棄などの社会経済活動の全段階を通じて、廃棄物の発生抑制や循環資源の利用などの取組を推進し、資源の循環する社会づくりを目指します。

【市民の考える将来イメージ】

- ❖ 「必要なものを必要な分だけ」という消費者の意識改革が進んでいる。
- ❖ 3Rが徹底されているのと同時に、分別収集による再生資源が有効に利用されている。
- ❖ 生ごみは減量や堆肥化が当たり前になり、畑や田から出る草もごみとして出されない。
- ❖ ごみ箱やごみステーションが少なくなり、まちの景観がよくなっている。
- ❖ 平気でごみを捨てる人はおらず、ごみのポイ捨てや不法投棄のないまちになっている。
- ❖ 環境に配慮した最新設備の焼却施設が整備されている。

地球の気候に悪影響を及ぼさない水準で大気中の温室効果ガスの濃度を安定化するため、化石燃料に頼らないで、私たちの生活の豊かさを実感できる低炭素な社会づくりを目指します。

【市民の考える将来イメージ】

- ❖ 市の施設や設備、家庭、事業所などに太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの利用が進み、自ら使う電気は自分で賄うことが当たり前の社会になっている。
- ❖ 省エネルギー機器・設備が普及し、省エネルギー型のライフスタイルに変わっている。
- ❖ 電気自動車をはじめとしたクリーンエネルギー自動車が広く普及する一方、徒歩や自転車で生活ができる身近な生活圏が再生されている。
- ❖ あらゆる場所に緑が増えることにより、二酸化炭素の吸収促進や街中のクールスポットとして機能している。

自然共生社会、循環型社会、低炭素社会、そしてこれら3つの社会を支える安全・安心なまちづくりを実現するため、環境教育・環境学習、環境保全活動の推進など、分野横断的な取組を進めます。

【市民の考える将来イメージ】

- ❖ 保育所、幼稚園から高校までの環境の大切さを教える環境教育や実習体験が充実し、子どもたちは常に環境を大切に考え行動している。そのことが、最終的には人としての道徳やモラルの向上につながっている。
- ❖ 市民みんなが環境について教えることができる「先生」になっているため、「環境教育」という言葉は使われなくなっている。
- ❖ 子どもから大人まで市民のみんなが環境保全活動に参加している。はじめは自分の地域の環境整備をすることから始まり、次第に広域に広がっていく。環境保全活動の多様化が進み、次世代に受け継がれ、環境を保全する活動が社会の仕組みの一部になっている。
- ❖ 市民・事業者・行政の協働が進み、環境を守ることが経済活性化につながっている。

第2次焼津市環境基本計画の体系

望ましい環境像

みんなで作る 豊かな自然と心なごむまち やいづ

～人と地球にやさしい環境を 未来へつなぐために～

重点プロジェクト

- 地域の自然を守り隊プロジェクト
- ごみ減らし隊プロジェクト
- 人と地球にやさしいエネルギープロジェクト
- 環境活動リーダー育成プロジェクト

環境目標

安全・安心な
まちをつくる

自然共生社会を
つくる

循環型社会を
つくる

低炭素社会を
つくる

統合的に
取組を進める

取組方針

- 01 水がきれいなまち
- 02 空気がきれいで静かなまち
- 03 有害化学物質による汚染や公害のないまち
- 04 森林や農地を守るまち
- 05 河川・海岸と水資源を守るまち
- 06 多くの生き物・自然とふれあえるまち
- 07 廃棄物の少ないまち
- 08 廃棄物が適正に処理されるまち
- 09 エネルギーを有効利用するまち
- 10 低炭素な交通と緑豊かなまち
- 11 環境を知り・学び・活動するまち
- 12 環境と経済が両立するまち

(2) 焼津市環境審議会

焼津市環境基本条例に基づき、平成13年8月に焼津市環境審議会を発足しました。令和4年度の委員は下記のとおりです。

なお、環境審議会は、環境基本法で学識経験者を含めることとされています。

焼津市環境審議会委員名簿

(令和5年3月31日現在)

選出区分	氏名	備考
学識経験を有する者	永田守男	会長
	平井一之	副会長
市民代表	大石立美 多々良尊子 保科洋子 篠宮悟 長島博雄	
事業者代表	渡瀬守 柴田亜弓	
関係行政機関代表	栗田浩幸	

令和4年度の開催状況

開催年月日	内容
令和4年7月4日	「第3次焼津市環境基本計画の素案について」として、第1章・第2章の前年度審議会後の修正点と、第3章から第6章の内容について審議しました。
令和4年8月30日	「第2次環境基本計画の令和3年度取組結果と令和4年度取組計画」及び「第3次焼津市環境基本計画策定の原案」について審議しました。
令和5年2月13日	「第3次焼津市環境基本計画(案)」、「パブリックコメントの結果」及び「答申書(案)」について審議しました。

(3) 環境基本計画推進状況

1 安心・安全なまちをつくる

取組方針1 水がきれいなまち

【具体的な数値目標】 河川BODの環境基準達成率 (単位：%)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
静岡県調査・環境基準達成率 (達成箇所／調査地点5箇所) ×100	100	100	100	100 (最終目標100)

【具体的な数値目標】 海域CODの環境基準達成率 (単位：%)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
静岡県調査・環境基準達成率 (達成箇所／調査地点5箇所) ×100	60	80	100	100 (最終目標100)

【主体別の取組】

(1) 排水をきれいにする

市の取組	担当課	実施状況
公共下水道の整備を推進します。	下水道課	令和4年度は19件の公共柵設置申請を受け付け、完成させました。
コミュニティプラントの維持・管理を行います。	下水道課	各施設の水質を確保しました。(年間平均値) 坂本 BOD 2.8mg/ℓ未満 すみれ台 BOD 1.5mg/ℓ未満、SS 5mg/ℓ未満 つつじ平 BOD 2.1mg/ℓ、SS 2.4mg/ℓ
合併処理浄化槽への転換を促進します。	下水道課 小屋敷環境管理センター	小型合併処理浄化槽の申請を446基受け付けました。
生活排水による水質汚濁防止の啓発を行います。	下水道課 区画整理課	下水道課では、下水道未接続者に対して郵送と臨戸訪問で普及活動をしたほか、合併処理浄化槽設置補助金の交付申請時に点検・法定検査の契約書類の写しを添付してもらうことによって契約書状況を確認するとともに、浄化槽設置者からの問い合わせや相談時に適正な維持管理について周知しています。区画整理課では、浄化槽法等に基づいて仮設住宅浄化槽の清掃や定期点検(令和4年度中3回)を実施し、良好な状態を維持しています。

(2) 水質を監視する

市の取組	担当課	実施状況
定期的な水質の測定監視を実施します。	環境課	河川水質測定調査において、四半期毎（6・9・12・3月）27箇所を4回実施し、河川の水質の監視に努めました。
県と連携して事業所への立入調査等を実施し、事業所排水の監視・指導を行います。	環境課	規制対象事業所等の立入調査を64事業所に対し実施し、事業所排水の監視・指導に努めました。
河川・水路の堆積土砂等の除去を行います。	河川課 環境課	河川課では、浚渫業務委託を必要に応じ発注し、堆積土砂の除去を図りました。環境課では、38自治会に対し地域環境美化活動の実施に関する啓発をしました。
河川への不法投棄防止の監視・指導・啓発を行います。	河川課 環境課	河川課では、7月～8月にかけて河川パトロールを実施し、不法投棄物の有無の調査を行いました。 環境課では、環自協と協力し市内全域で不法投棄監視パトロールを実施したほか、臨時職員による日常的なパトロールを実施しました。

取組方針2 空気がきれいで静かなまち

【具体的な数値目標】 大気汚染に係る環境基準達成率 (単位：%)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
SO ₂ 、NO ₂ 、SPMの環境基準達成数 ／3項目×100 (県の測定結果による)	100	100	100	100 (最終目標100)

【主体別の取組】

(1) 大気汚染・悪臭への対策をする

市の取組	担当課	実施状況
県と連携して事業所への立入調査を実施し、大気汚染発生源の監視・指導を行います。	環境課	規制対象事業所等の立入調査を27事業所に対し実施し、大気汚染の監視・指導に努めました。
悪臭発生源となる事業所等に対する監視・指導を行います。	環境課	11月に7事業所に対し、悪臭立入調査を実施しました。

小型焼却炉や野焼き行為の監視・指導を行います。	環境課	野焼きの苦情に対し、発生源への指導を実施しました。また、広報やいづ10月号に野焼き防止の啓発記事を掲載しました。
低公害車の導入を促進します。	出納室ほか	低燃費排出ガスを対象にした公用車の購入率は100%でした。

(2) 騒音・振動への対策をする

市の取組	担当課	実施状況
騒音等の発生源となる事業所等に対する監視・指導を行います。	環境課	騒音への苦情に対し、指導を実施しました。
アイドリングストップの実施、急発進の抑制などエコドライブを推進します。	出納室 環境課	公用車ガソリン使用料(軽油+ガソリン)を令和2年度比1.6%削減しました。エコドライブについては、職員へは庁内メッセージでの環境教育情報発信で、市民へはホームページにて周知・啓発を行いました。
公共工事等で発生する騒音・振動を低減します。	公共工事担当課	すべての発注工事において低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械を使用しました。

取組方針3 有害化学物質による汚染や公害のないまち

【具体的な数値目標】ダイオキシン類の環境基準達成率 (単位：%)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
ダイオキシン類の環境基準達成箇所数 ／調査箇所数×100	100	100	100	100 (最終目標100)

【具体的な数値目標】公害苦情件数 (単位：件)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
大気汚染・水質汚濁・騒音・振動・ 悪臭等の苦情受付件数(年間)	93	95	97	93 (最終目標90以下)

【主体別の取組】

(1) 有害化学物質への対策をする

市の取組	担当課	実施状況
定期的な有害化学物質（ダイオキシン類、環境ホルモン）の測定監視を行うとともに、高濃度地点については県と連携し原因究明や対策検討を行います。	環境課	10月下旬にダイオキシン類調査を実施し、有害化学物質の監視をしました。
県と連携して事業所への立入調査を実施し、ダイオキシン類の監視指導を行います。	環境課	規制対象事業所等の立入検査を4事業所に対し実施しました。
PRTR法について関係機関とともに周知を行います。	環境課	対象化学物質を取り扱う各施設の保管状況を、環境活動レポートに掲載し公表しました。
国や県の動向を踏まえ、放射線量については、必要に応じ測定を行い、結果を公表します。	地域防災課	県が設置しているモニタリングポストの測定結果を、市役所本庁舎と大井川庁舎で公表しました。また、消防防災センター、各公民館、大井川港管理事務所でも測定を実施しました。

(2) 公害や生活に密着した苦情を未然に防ぐ

市の取組	担当課	実施状況
環境調査（水質、大気、騒音、悪臭など）を行います。	環境課	大気、水環境などの状態を把握するため、定期的に調査を実施しました。
公害苦情への速やかな対応と問題解決に向けた指導を実施します。	環境課	年間で93件の苦情を受け付け、その都度、事情聴取及び現場確認、該当法令の調査を実施し、必要があれば発生源側に指導しました。
環境負荷の大きい事業所に対し、公害防止協定の締結を行います。	環境課	新たな協定締結や、中小事業所との締結に向けた動きはありませんでした。
登録や適正飼育、終生飼養などについて、犬・猫飼い方マナー説明会や広報紙などで周知啓発を行います。	環境課	犬・猫飼い方マナー説明会を16回実施し、動物愛護週間について広報やいづに掲載しました。
敷地に雑草などが繁茂しないように適正な管理が行われるよう、広報紙などで周知啓発を行います。	環境課	空地の管理に係る苦情107件について、現地調査・指導を行い、適切な敷地管理が行われるよう努めました。

取組方針4 森林や農地を守るまち

【具体的な数値目標】水田の有効活用率 (単位：%)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
(水稲面積+転作作物面積) / 水田面積 × 100	87	86.3	77	80.4 (最終目標 93)

【具体的な数値目標】認定農業者数 (単位：人)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
認定農業者の登録農業者の数	75	88	91	97 (R2最終目標 81)

【具体的な数値目標】エコファーマー登録数 (単位：人)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
県のエコファーマーに登録された人数	50	27	27	10 (最終目標 68)

【主体別の取組】

(1) 森林を守る

市の取組	担当課	実施状況
高草山周辺などの自然環境の豊かな地域の環境保護を図ります。	農政課	森林保全と山火事防止のため、自治会や職員による巡視活動を実施しました。
森林の適正管理について方向性を示し、所有者等が行う森林整備を指導します。	農政課	森林所有者による森林整備及び、森の力再生事業の実施はありませんでした。

(2) 農地を守る

市の取組	担当課	実施状況
農地を保全します。	農政課	農業振興地域整備計画の適切な管理のため、農用地からの除外申請に対する相談受付を実施しました。

市民農園の整備・利活用を促進します。	農政課	市民農園についてホームページで周知し、利用者を募集しました。利用率 91.6%。
農産物直売店舗や朝市等を活用して地産地消を促進します。	農政課	大井川港朝市への出店参加、市役所本庁舎 1 階での出張まんさいかんの実施、LINE クーポン配信（2 回）により、市内の直売所や農産物について PR しました。
エコファーマーの育成や環境保全型農業を推進します。	農政課	国の環境保全型農業支援事業推進を 10 ha 実施しました。
まとまった農地を保全し、田園景観を保全します。	農政課	農業振興地域整備計画の適正管理及び農用地利用計画の随時変更による相談を受け付けました。
農地水環境保全事業を推進します。	農政課	地域の共同活動を支援する農地水環境保全向上対策支援事業を、6 団体 158.7ha で継続的に実施しています。
イノシシなどによる農作物への被害防止のため、有害鳥獣対策を適正に推進します。	農政課	イノシシ等の捕獲委託及び実施隊による実施により、イノシシ 58 頭、アナグマ 2 頭、ハクビシン 3 頭を捕獲しました。
農業体験教室を実施します。	農政課 スマイルライフ推進課	令和 4 年度の実施はありませんでした。
耕作放棄地を農地に再生する取組みを支援します。	農政課 農業委員会	農地パトロールにより荒廃農地の現状把握を行い、所有者に対する利用意向調査を実施しました。貸付希望のある農地については、農地中間管理機構への斡旋につなげました。

取組方針 5 河川・海岸と水資源を守るまち

【具体的な数値目標】 1 日当たりの地下水揚水量

(単位：m³/日)

	後期計画策定時 (H28 年度)	R 2 年度 実績値	R 3 年度 実績値	R 4 年度 実績値
市内で事業所等が汲み上げる 1 日当たりの地下水量	286, 104	271, 523	257, 882	254, 355 (最終目標 306, 000)

【主体別の取組】

(1) 河川・海岸を守る

市の取組	担当課	実施状況
地域の特性を活かすとともに、河川生物の生息・生育環境に配慮した河川整備を促進します。	河川課	令和4年度の実施はありませんでした。
国・県に対し、環境に配慮した海岸保全施設の整備を要請します。	河川課	国・県と調整を図りながら潮風グリーンウォークの整備を行っています。
市民・行政の協働により海岸防災林の環境保全を図ります。	農政課	地域住民と市による巡視活動を実施しました。
海岸防災林の市民・行政の協働管理を推進します。		
海岸防災林の機能維持を図ります。	都市整備課 農政課	業務委託により、枯損状況の確認等を実施し、薬剤散布を行いました。
海岸養浜事業を行います。	大井川港 管理事務所	南防波堤上手側の堆積土砂及び航路堆積土砂を利用し、海岸養浜（海上 65,811 m ³ 、陸上 6,164 m ³ ）を実施しました。
港湾清掃を行うとともに、海岸流木処理費用の要件緩和を国や県に働きかけます。	大井川港 管理事務所	8月と12月に大井川港振興会会員の参加により、港湾清掃を実施しました。また、飯淵・利右衛門海岸の流木の撤去を実施しました。
港内への油流出に対応した防災訓練を行います。	大井川港 管理事務所	11月に大井川港総合防災訓練を実施しました。

(2) 水資源を守る

市の取組	担当課	実施状況
新設する歩道の透水性舗装化を進めていきます。	道路課	令和4年度の実施はありませんでした。
節水意識や雨水利用の啓発を図ります。	環境課	やいづエコ市民塾や環境出前講座、アース・キッズチャレンジでの啓発を行いました。
静岡県地下水条例に基づき地下水の保全に努めます。	環境課	塩水化調査を毎月実施したほか、地下水採取量調査を令和5年1月に実施しました。
海洋深層水の利活用を促進するとともに、海洋深層水に関する知識を啓発します。	漁港振興課	10月に学習会を開催し知識の向上を図りました。(学習会参加者数28人)

取組方針6 多くの生き物・自然とふれあえるまち

【具体的な数値目標】 自然観察会参加者数（累計）

（単位：人）

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
市が主催又は共催して開催する 自然観察会の参加者数	6,829	12,485	12,947	13,472 (最終目標 12,800)

【主体別の取組】

(1) 動植物を守る

市の取組	担当課	実施状況
野生鳥獣や貴重な動植物を保護します。	農政課 環境課 文化振興課	傷病鳥獣の保護活動（5件）を実施しました。また、指定文化財の旭伝院のマツの消毒を実施しました。
地域特性に応じた街路樹による歩道等の緑化を推進します。	土地区画整理 事務所	令和4年度の実施はありませんでした。
生物多様性の保全と持続可能な利用を図るため、生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略について検討します。	環境課	国・県他、県内市町の生物多様性地域戦略策定についての情報を収集しました。
県や近隣市町などと連携を図り、生物多様性の保全に努めます。	環境課	近隣市の保全の状況についての情報を収集しました。
市内の自然環境や動植物に関する調査、情報の把握、提供に努めます。	環境課	他市町の調査方法、情報の把握方法についての情報を収集しました。
外来生物法の意識啓発を図るとともに、外来生物の防除実施や処分の検討を行います。	環境課	環境省ホームページを参考に、焼津市ホームページに外来生物に関するページを作成しました。
空き地などで繁茂する外来植物の拡大を防ぐため、土地管理者への注意喚起を行います。	環境課	空き地の管理に係る苦情について、現地調査・指導を実施しました。

(2) 自然とふれあう

市の取組	担当課	実施状況
自然観察会を開催します。	環境課 スマイルライフ推進課	環境課では、夏休み親子水生生物教室を8月6日に開催しました。 スマイルライフ推進課（公民館）では、少年の船、海の子・山の子交流体験事業、星空観察会、みかん狩り、ふるさとジュニアカレッジ等を開催し、参加者に自然や地域の歴史に触れる機会を提供しました。
栃山川自然生態観察公園の維持管理を行います。	都市整備課	業務委託により、定期的にパトロールを行い、適切な管理を実施しました。
高草山の公園やハイキングコースなどの管理や整備を行います。	農政課 観光交流課	笛吹段公園・坂本いこいの広場・鳴沢滝不動緑地の管理業務を地元自治会に委託し、除草、樹木選定、芝生管理等を実施しました。また、地元団体と業務委託契約を締結し、ハイキングコースの維持管理を実施しました。
花沢の里の環境保全を図ります。	農政課 観光交流課	地元自治会等に委託し、花沢の里緑地周辺の除草・樹木剪定を実施しました。また、地元団体と業務委託契約を締結し、花沢の里にある観光駐車場・トイレ・四阿（あずまや）・水車小屋の維持管理を実施しました。
海岸・河川等における環境美化活動を推進します。	河川課 環境課	河川課では、県と連携したリバーフレンドシップ制度を活用し、美化活動を実施しました。環境課では、11月にやいづビーチクリーン大作戦を実施し、市民2,921人が参加しました。
瀬戸川緑地の維持管理に努めます。	河川課 都市整備課	ふるさとの川瀬戸川、栃山川の環境管理業務を発注し、除草、消毒及び清掃を実施しました。また、都市公園指定管理者に委託し適切な管理を実施しました。

取組方針 7 廃棄物の少ないまち

【具体的な数値目標】 ごみ総排出量

(単位：t/年)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
市内から1年間に発生するごみの総量	41,487	40,647	39,642	38,670 (最終目標 39,915)

【具体的な数値目標】 1人1日当たり可燃物量

(単位：g/人・日)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
可燃物の量/人口/365日	471	479	471	470 (R3最終目標 453)

【主体別の取組】

(1) ごみを減らす

市の取組	担当課	実施状況
ごみ処理施設の見学会を開催し、環境意識の向上を図ります。	環境課	ごみ減量説明会において施設見学を6回実施しました。
グリーンコンシューマーをはじめ、ごみ減量につながるライフスタイルの見直しについて意識啓発を図ります。	環境課	やいづエコ市民塾でグリーンコンシューマーについての講義を実施しました。また、雑がみ用袋ウェイクアップキャンペーンを実施し、約7,530枚の紙袋を回収しました。
ごみ処理の有料化について、調査・検討します。	環境課	令和4年度の実施はありませんでした。
ごみ減量出前講座やごみ減量説明会を開催します。	環境課	ごみ減量説明会及び公民館講座などを27回開催し、628人が参加しました。
小学生ごみ処理体験学習会を開催します。	環境課	パッカー車収集体験を7回実施しました。
ごみ処理費用や町内ごとのごみ量、他市町との比較などを公表し、ごみ減量意識の啓発を図ります。	環境課	環自協支部長会や各自治会におけるごみ減量説明会で説明を実施しました。

(2) 資源を再使用・再利用する

市の取組	担当課	実施状況
再使用できる製品を積極的に購入するとともに啓発を行います。	出納室	消耗品等は、環境への負荷が少ないものを選択するよう啓発しました。(購入率 100%)
放置自転車のリサイクル及び資源化を進めます。	くらし安全課	保存期間満了の放置自転車 25 台を自転車商組合に売却し、リサイクルしました。
再使用可能な容器等の利用を促進します。	学校給食課	調理場で使用する洗剤の容器を納入業者に回収、再利用してもらい、継続実施率 100%でした。
生ごみ処理機を活用し、生ごみの堆肥化を推進します。	学校給食課	生ごみ処理機により、ごみの減量化と生ごみの資源化に取り組み、実施率は 100%でした。
生ごみの再利用に関する各種施策を推進します。	環境課	黒土処理器の制作配布、新生ゴミ処理器の制作配布、生ごみ処理機器購入補助金交付を実施しました。(コンポスト式生ごみ処理器購入補助金 25 件、黒土利用生ごみ処理器配布 119 件)。
コンポストや生ごみ処理器の普及を推進します。		
剪定枝葉等のチップ化等による資源化を推進します。	環境課 河川課 都市整備課	木くず剪定枝を 1,029.39 t 収集しました。また、河川工事の際の伐採樹木のチップ化を行ったほか、街路樹管理等に伴い発生した剪定枝葉をチップ化し、マルチング材として使用しました。

取組方針 8 廃棄物が適正に処理されるまち

【具体的な数値目標】 廃食用油回収量

(単位：ℓ/年)

	後期計画策定時 (H28 年度)	R2 年度 実績値	R3 年度 実績値	R4 年度 実績値
1 年間に回収した廃食用油の量	30,850	33,450	33,050	26,900 (最終目標 27,000)

【具体的な数値目標】 環境美化推進活動参加者数 (累計)

(単位：人)

	後期計画策定時 (H28 年度)	R2 年度 実績値	R3 年度 実績値	R4 年度 実績値
環境美化活動に参加した人数	1,575,893	1,967,778	2,034,236	2,117,544 (最終目標 1,960,000)

【主体別の取組】

(1) 分別回収して資源化する

市の取組	担当課	実施状況
古紙等の回収を促進する古紙等資源回収奨励金の交付を行います。	環境課	古紙等資源回収奨励金の交付を行いました。 (交付額 2,725,260円)
地域の分別収集拠点（ミニステーション）は利用者の希望などを反映して稼働日、設置場所などを適宜見直します。	環境課	ミニステーションを適正に運営し、資源物を回収しました。 回収量 1,028t
自主資源回収を行う小売店の普及を行います。	環境課	令和4年度の実施はありませんでした。
容器包装プラスチックの回収を進めます。	環境課	容器包装プラスチックを1,613.31t回収しました。
分別したごみの処理方法の情報提供を行います。	環境課	家庭ごみ、資源物の分け方・出し方の冊子を全戸配布したほか、市ホームページで周知しました。
廃食用油回収によるリサイクルを推進します。	環境課	廃食用油を26,900ℓ回収しました。
使用済小型家電を回収し、リサイクルを推進します。	環境課	回収BOX等で小型家電を48.58t回収しました。
リサイクル拠点を設置し、積極的にPRすることで資源ごみの再利用を促進します。	環境課	ミニステーションとリユース古着ボックスを適正に運営しました。また、アース・キッズ事業や環境出前講座、やいづエコ市民塾等でごみの分別について周知しました。

(2) 廃棄物処理を適正に行う

市の取組	担当課	実施状況
建設発生土の有効利用、特定建設資材の分別解体や特定建設資材廃棄物の再資源化を徹底します。	各工事発注担当課	工事発注の市各担当課において、発注工事全てにおいて業者に指示することにより、再資源化を促進することができました。
関係機関と協議しながら、熱エネルギーを有効利用した新ごみ処理施設、リサイクル施設を整備します。	環境課	志太広域事務組合にて実施しています。
焼却灰等の副生成物の資源化を促進します。	環境課	志太広域事務組合にて実施しています。

陶器ガラスくずのリサイクルを行います。	環境課	志太広域事務組合にて実施しています。
関係機関と協力し、資源物等の持ち去り防止に努めます。	環境課	警察や地域と積極的に情報共有し、現地調査等を行いました。
下水道汚泥をセメント原料及びにコンポストの母材として再利用を進めます。	下水道課	排出された汚泥の全量（2,451.65t）をセメント材料や肥料などに資源化しました。

（3）環境美化を推進する

市の取組	担当課	実施状況
環境美化推進条例の浸透やマナー向上を啓発します。	環境課	11月にやいづビーチクリーン大作戦を実施し、市民2,921人が参加しました。
事業者に対して廃棄物の適正な処理の指導を行います。	環境課	志太広域事務組合からの範俗物検査結果をもとに、通知送付によって分別指導を実施しました。（11件）
不法投棄防止に向けた監視、指導、啓発を行います。	環境課	環自協との不法投棄パトロールのほか、臨時職員による日常的なパトロールを実施しました。
環境美化活動の企画・開催・支援をします。	環境課 河川課	11月にやいづビーチクリーン大作戦を実施し、市民2,921人が参加しました。
マイクロプラスチック問題の周知や、ペットボトル・プラスチックの適正処理に対する意識啓発を行います。	環境課	環境出前講座ややいづエコ市民塾でプラスチックの適正処理について啓発しました。

4 低炭素社会をつくる

取組方針9 エネルギーを有効利用するまち

【具体的な数値目標】温室効果ガス排出量（市全体）

（単位：千t-CO₂）

	H25年度 基準値	後期計画策定時 (H28年度)	R元年度 実績値	R2年度 実績値 (速報値)
焼津市内で排出される温室効果ガス排出量の削減率（市全体）2013年度比	0.00	△7.0	△15.4	△19.7 (R3最終目標△12.0)

※各種統計資料などの基礎データが揃ってから算出するので、R2年度確定値、R3年度速報値はR5年度中に算出予定。

【具体的な数値目標】太陽光発電施設件数

(単位：件)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
中部電力と系統連系を行っている件数	5,282	6,938	7,273	7,668 (最終目標 7,200)

【具体的な数値目標】焼津市役所の低公害車割合

(単位：%)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
低公害車台数／全公用車の台数	67.8	63.5	63.5	60.3 (最終目標 78.9)

【主体別の取組】

(1) 地球温暖化・エネルギー対策を総合的に進める

市の取組	担当課	実施状況
地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編、事務事業編）を推進します。	環境課	市役所地球温暖化防止実行計画やエコアクション 21 に基づき、市役所全体で温室効果ガス排出量削減に向けて取り組みました。
フロンガス類などの回収・適正処理を啓発します。	環境課	フロン排出抑制法に基づき、庁内の対象機器の算定漏えい量を取りまとめ、適正な処理方法を周知しました。

(2) 再生可能エネルギーを使う

市の取組	担当課	実施状況
家庭向けの再生可能エネルギーの導入支援により普及促進を図ります。	環境課	住宅用太陽光発電システム等補助申請を 134 件、住宅用新エネルギー機器設置補助申請を 5 件受け付け、交付決定しました。
事業者向けの再生可能エネルギーの導入支援を検討します。	環境課	国や県の補助事業について、焼津商工会議所や大井川商工会へ情報提供しました。
環境に配慮したエネルギーの先進技術に関する情報を提供します。	環境課	国・県や新聞、インターネットなどで環境に配慮したエネルギーの先進技術に関する情報を収集しました。
再生可能エネルギーの導入について研究します。	環境課	国・県や新聞、インターネットなどで環境に配慮したエネルギーの先進技術に関する情報を収集しました。

再生可能エネルギーを普及促進するための意識啓発を行います。	環境課	環境出前講座や市ホームページ、広報やいづにて再生可能エネルギー導入について周知・啓発しました。
公共施設へ太陽光発電設備の設置を進めていきます。	公共施設管理 担当課	令和4年度の実施はありませんでした。

(3) 産業・家庭・業務部門の省エネルギーを進める

市の取組	担当課	実施状況
高効率照明（LED、Hf 照明など）や高効率給湯器（ヒートポンプ給湯器、潜熱回収給湯器など）など省エネルギー機器やトップランナー機器、蓄電池などのエネルギー効率化機器の普及啓発を行うとともに、購入助成等を検討します。	環境課	国・県の補助制度について把握し、市民や事業者からの問い合わせがあった際に、制度について随時案内を行いました。また、令和4年度から V2H システムへの補助金交付を開始し、申請受付、交付決定を行いました。
BEMS や HEMS、省エネナビなどの導入促進などにより、エネルギーの「見える化」を推進します。	環境課	国・県の省エネ対策支援制度について、情報収集を行いました。
家庭に対する省エネ診断を行い、家庭生活における意識改革の促進を図ります。	環境課	令和4年度の実施はありませんでした。
広報などにより省エネ行動を促進させるための啓発を行います。	環境課	市ホームページ及び広報やいづに環境月間に関する記事を掲載しました。
建築物省エネ法や CASBEE 静岡の届出、長期優良住宅認定制度を通じて環境に配慮した建築物の推進を図ります。	建築指導課	建築物省エネ法の基準に適合する届出を 16 件、CASBEE 静岡の届出を 6 件受理し、長期優良住宅として 253 件の認定を行いました。
公共施設において、国の補助金を活用するなどして、設備・機器の省エネ改修（LED 化など）を推進します。	公共施設管理 担当課	令和4年度の実施はありませんでした。
公共施設への省エネ建物の率先導入を進めます。	公共施設管理 担当課	令和4年度の実施はありませんでした。
汐入下水処理場の設備更新に伴い、省エネ化を図ります。	下水道課	搬出汚泥量は前年度比 73.10t 増加しましたが、下水処理機器の更新により、電力使用量は前年度同期と比較して 32,092kWh 減少しました。

漁船の作業灯のLED化など省エネ機器の導入を支援します。	水産振興課	令和4年度の実施はありませんでした。
LED等の省電力型道路照明灯への切替え及び設置を推進します。	道路課	国道150号線地下道の蛍光灯を、LEDに更新しました。

(4) 運輸部門の省エネルギーを進める

市の取組	担当課	実施状況
通勤時のマイカー利用の自粛や、近距離の公用車の使用を控えます。	環境課	ノーカーチャレンジとしてマイカー通勤自粛に取り組み、21,603.0kg-CO ₂ の削減が図られました。
自転車利用の促進を図ります。	環境課	クールチョイス啓発事業の中で、自転車の利用について啓発しました。
アイドリングストップの実施、急発進の抑制などエコドライブの推進を図るための啓発を行います。	環境課 出納室	環境課では、職員に対して「エコドライブ10のすすめ」を周知しました。 出納室では、公用車ガソリン使用料(軽油+ガソリン)を令和2年度比1.6%削減しました。
公用車への低公害車の導入を促進します。	出納室	低燃費排出ガスを対象にした公用車の購入率は100%でした。
低公害車の導入を促進するため、家庭や事業所に対する普及啓発や購入助成等を検討します。	環境課	国、県、他市の低公害車購入に対する補助金などの情報を収集しました。
公共交通機関の利用促進を啓発します。	道路課 環境課	道路課では、ホームページ、広報やいつ、地域イベントでの啓発や時刻表の配布などにより利用促進を図りました。 環境課では、クールチョイス、公共交通機関の利用促進について啓発しました。
放置自転車を回収し、リサイクル及び資源化を進めます。	くらし安全課	保存期間満了の放置自転車25台を自転車商組合に売却し、リサイクルしました。

取組方針10 低炭素な交通と緑豊かなまち

【具体的な数値目標】市民1人当たりの都市公園面積

(単位：m²/人)

	後期計画策定時 (H28年度)	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値
都市公園面積/人口	5.24	5.50	5.67	6.01 (最終目標5.43)

【具体的な数値目標】 生け垣奨励植樹本数（累計）

（単位：本）

	後期計画策定時 (H28 年度)	R2 年度 実績値	R3 年度 実績値	R4 年度 実績値
生け垣奨励金による植樹本数	56,408	56,993	56,993	57,022 (最終目標 58,808)

【主体別の取組】

(1) 低炭素な交通にする

市の取組	担当課	実施状況
歩道の整備を進めるとともに、自転車走行環境の整備を検討します。	道路課	令和4年度の実施はありませんでした。
既存歩道部への遮熱舗装や保水性舗装などの導入について検討します。	道路課	令和4年度の実施はありませんでした。
交通結節点に駐輪場の設置を検討します。	道路課	令和4年度の実施はありませんでした。
市内のバス路線を再編し、利便性の高い公共交通ネットワークを構築します。	道路課	地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通ネットワークの再編について検討しました。
定時定路線での運行では収支の面等から効率の悪い地域で、乗合タクシーの導入を検討していきます。	道路課	4月に大井川地区、6月に大島三和地区において予約型（デマンド型）乗合タクシーの運行を開始しました。
市営駐車場を利用するのパークアンドライドを研究します。	道路課	地域公共交通会議において議論し、検討しています。

(2) 緑地を増やす

市の取組	担当課	実施状況
新しい公園の整備を推進するとともに既存公園の活用を図ります。	都市整備課	既存公園施設を更新し、公園の利活用を図りました。
公園と緑地の連続性が確保された緑のネットワークの形成を図ります。	都市整備課	公園の施設整備工事を実施し緑化の推進を図りました。
みどりの祭典の開催などにより緑化活動を推進します。	都市整備課	焼津港まつりにおいて花の種を、みどりの祭典や各公民館まつりにおいて苗木を無料配付し、緑化を推進しました。

街路樹による道路等の緑化を推進します。	都市整備課	業務委託により、街路樹の適切な維持管理を実施しました。
生け垣づくり補助制度により、住宅地の緑化を推進します。	都市整備課	令和4年度は1件の申請に対して交付を行いました。
焼津市みどりを育てる条例に基づき、樹木等の保全を図る必要がある場合は、保存樹等の指定を行います。	都市整備課	令和4年度の新規指定はありませんでした。
焼津市みどりを育てる条例に基づき、事業場敷地の緑化推進を指導します。	都市整備課	事業場敷地の10%以上を緑地として確保するよう指導し、緑化計画書の届出ベースで1.36haの緑地を確保しました。
地域特性に応じた街路樹による歩道等の緑化を推進します。	道路課	令和4年度の実施はありませんでした。
休耕農地などを利用した花の栽培による景観形成を促進します。	農政課	レンゲ種子780kgの配布による景観形成及び地力増進に努めました。
公共施設の緑化を推進します。	管財課 スマイルライフ推進課	管財課においては、夏季期間、本庁舎周辺樹木への散水を行いました。また、市内公民館の取り組みとしては、住民ボランティアやサークル、地域の花の会などによる公民館周辺の花壇・プランターの草取り、植え付け・整備を行ったほか、グリーンカーテンを実施し、緑化を推進しました。

取組方針 11 環境を知り・学び・活動するまち

【具体的な数値目標】環境教育事業参加者数（累計）

（単位：人）

	後期計画策定時 (H28 年度)	R2 年度 実績値	R3 年度 実績値	R4 年度 実績値
環境教育に関するイベントや講座などへの参加者数	29,383	42,023	43,196	45,061 (最終目標 41,300)

【具体的な数値目標】環境活動リーダー数

（単位：人）

	後期計画策定時 (H28 年度)	R2 年度 実績値	R3 年度 実績値	R4 年度 実績値
市が認定する環境活動リーダー数	59	96	105	111 (最終目標 120)

【主体別の取組】

(1) 環境教育・環境学習を行う

市の取組	担当課	実施状況
「環境活動リーダー育成研修会」の開催により、環境活動リーダーを育てます。	環境課	やいづエコ市民塾（環境活動リーダー育成研修会）を開催し、新たに 10 名を環境活動リーダーとして認定しました。
環境活動リーダーの活動する場として、環境関連イベントへの参加や、出前講座の講師などを提供していきます。	環境課	出前講座で環境活動リーダーに講師を依頼したほか、夏休み親子水生生物教室やアース・キッズチャレンジへの参加を依頼しました。リーダーに講師を依頼した出前講座を計 5 回実施しました。
環境出前講座の実施により、市民や事業者が環境学習に参加できる機会の充実を図ります。	環境課	環境出前講座を 17 回開催しました。延べ受講者数は 1,011 人でした。
家庭版環境マネジメント事業を実施します。	環境課	市内 2 校の小学生計 178 人を対象に、児童が家庭でリーダーとなって省エネ生活を実施し、地球温暖化について学ぶアース・キッズチャレンジ事業を実施しました。
地域や事業者、市民団体などと連携し、幼稚園や学校などの環境教育をサポートするシステムづくりを行います。	環境課	環境出前講座を 17 回開催したほか、夏休み親子水生生物教室やアース・キッズチャレンジを実施し、環境教育のサポートを行いました。

こどもエコクラブへの参加啓発を行います。	環境課	ホームページ上において、こどもエコクラブについて周知を行いました。
「焼津市自然観察ポイントマップ」を改定し、環境教育・環境学習に役立てます。	環境課	令和4年度は改定は行いませんでした。
自然観察会を実施します。	環境課 スマイルライフ推進課	環境課では、夏休み親子水生生物教室を8月6日に開催しました。公民館等で自然観察会を開催しました。
環境に関する講座を開催します。	環境課 スマイルライフ推進課	環境出前講座や公民館主催の環境関連講座等を実施しました。
ごみ減量出前講座やごみ減量説明会を開催します。	環境課	公民館でのごみ減量出前講座や地域でのごみ減量説明会を27回開催しました。(参加者数：628人)
農業体験教室を開催します。	農政課	令和4年度の実施はありませんでした。
環境関係施設（上下水道施設など）の見学会を実施します。	水道総務課 下水道課	水道総務課では、8月に「水道施設と大井川環境管理センターを巡る親子見学会」を実施しました。下水道課では、汐入下水処理場で見学会を実施しました。

(2) 環境情報を充実させる

市の取組	担当課	実施状況
環境教育に役立つ環境マップ（環境副読本）等を作成します。	環境課	環境マップ（水生生物マップ）を小学4年生全員に配布しました。
環境情報の収集・発信を行います。	環境課	環境経営レポートを作成し、エコアクション21中央事務局及びホームページで公開しました。
本市の環境の現状や環境への取組状況をとりまとめた年次報告書を作成し、公表します。	環境課	環境報告書を作成し市ホームページ上に掲載しました。
環境に関する教材（環境冊子）等を使用した環境教育を行います。	学校教育課	年間指導計画に基づき、環境教育にかかわる授業を実施しました。

(3) 参加・協働による環境保全活動を活発にする

市の取組	担当課	実施状況
------	-----	------

環境市民団体等との協働の取り組みを実施します。	環境課	環境活動リーダーには環境出前講座の講師として5回協力いただきました。
市内で環境保全活動に取り組む団体等を把握するとともに、団体に対する情報提供など活動支援を行います。	環境課	登録団体の募集及び登録団体の紹介を広報やいづ5月号で行い、令和4年度は環境保全活動団体として新たに3団体の登録がありました。登録団体の紹介及び活動報告等をホームページに掲載しました。また、登録団体に対して民間の補助金制度の情報提供を行いました。
環境基本計画の取り組みを推進するため、環境保全活動団体の活動実績をホームページ等で紹介し、環境保全活動団体の登録を推進します。		
地域の環境活動を応援するため、活動に対する助成を検討します。		
市民・行政の協働により海岸防災林の環境保全を図ります。	農政課	地域住民と市による巡視活動を実施しました。

取組方針 12 環境と経済が両立するまち

【具体的な数値目標】 エコアクション 21 取得事業所数

(単位：事業所)

	後期計画策定時 (H28 年度)	R2 年度 実績値	R3 年度 実績値	R4 年度 実績値
市内でエコアクション 21 の認証を取得している事業者数の累計	41	37	38	36 (最終目標 54)

【主体別の取組】

(1) 事業活動に環境配慮を織り込む

市の取組	担当課	実施状況
エコアクション 21 の認証登録の支援事業を行います。	環境課	全5回の認証登録支援セミナーを開催しました。市内事業者1社が参加、全課程を修了し、新たに認証登録されました。
家庭版環境マネジメント事業を実施します。(再掲)	環境課	静岡県地球温暖化防止活動推進センターと協力・連携し、アース・キッズチャレンジ事業を実施し、児童の環境意識の向上を図りました。 (市内小学校2校、計178人参加)

グリーン購入促進の啓発を行うとともに、市役所内においてグリーン購入を推進します。	環境課 出納室	環境課では、新規採用職員研修や環境推進員研修のほか、環境推進員を通じ、庁内のグリーン購入の取組推進と啓発を実施しました。出納室では、環境に配慮した製品の購入を推進し、購入率は物品購入額の100%でした。
建築物省エネ法やCASBEE静岡の届出、長期優良住宅認定制度を通じて環境に配慮した建築物の推進を図ります。（再掲）	建築指導課	建築物省エネ法の基準に適合する届出を16件、CASBEE静岡の届出を6件受理し、長期優良住宅として253件の認定を行いました。

(2) 環境に配慮した農業・漁業・観光を行う

市の取組	担当課	実施状況
エコファーマーの育成や環境保全型農業を推進します。（再掲）	農政課	国の環境保全型農業支援事業推進を10ha実施しました。
地域資源（魚や野菜）の活用や食品加工業者との連携により食育を推進します。	水産振興課	焼津水産高校へ佃煮を寄贈しました。
農産物の地産地消により食育を推進します。	農政課	学校給食に焼津産の米、キャベツを使用しました。
地場産業と一体となった体験型観光を推進します。	観光交流課	体験型観光コンテンツのPRを行いました。また、観光協会の新たな体験型コンテンツのモニターツアーの支援を行いました。

(3) 焼津市の特性を活かした環境ビジネスを育成する

市の取組	担当課	実施状況
海洋深層水の利活用を促進するとともに、海洋深層水に関する知識を啓発します。	水産振興課	駿河湾深層水利用者協議会のホームページにて深層水商品をPRしました。

(4) 焼津市役所地球温暖化防止実行計画

令和4年度の温室効果ガス排出量は、次のとおりでした。

エネルギー種別	単位	H25年度 (基準年度)	R4年度	増減率
電 気	kWh	26,891,807	25,985,707	3.4%減
ガ ス	m ³	1,471,439	1,421,887	3.4%減
公用車燃料	ℓ	192,640	172,952	10.2%減
その他燃料	ℓ	144,950	104,499	27.9%減
温室効果ガス排出量 (各エネルギー使用量をCO ₂ 換算した合計)	t	16,630.5	15,906.9	4.4%減

※ 令和4年度の温室効果ガス排出量は、二酸化炭素(CO₂)に換算して15,906.9tであり、基準年度である平成25年度の16,630.5tと比べ4.4%削減しました。

※ 電気の排出係数は、実際は年度ごとに変動していますが、この表では平成25年度、令和4年度ともに0.0004530を使用しています。

用語解説

☞ 温室効果ガス

大気に含まれている気体の中には、太陽の光で暖められた地面から宇宙に向かって放射される熱(赤外放射)を吸収し、それを地表に向かって再放射するものがあります。この作用をもつ気体を『温室効果ガス』と呼び、代表的なものには二酸化炭素(CO₂)、メタン、一酸化窒素(N₂O)、フロン類などがあります。

近年、大気中の温室効果ガスの濃度が急激に増加してきており、それに伴って、地球の平均気温が上昇していること(地球温暖化)が大きな問題になっています。地球温暖化を防ぐため、日本はパリ協定の枠組みのもと、2030年までに、46%(2013年比)削減すること、さらに50%の高みにむけて挑戦し続けることを表明し、排出削減に取り組んでいます。

☞ CO₂排出量の算定方法

① 活動ごとの排出量の算定

抽出した活動ごとに、次の式を用いて排出量を計算します。

$$\text{『温室効果ガス排出量} = \text{活動量} \times \text{排出係数』}$$

※活動量⇒電気、ガス、ガソリンなどエネルギーの使用量など、排出活動の規模を表す指標

排出係数⇒活動量当たりの排出量(環境省令による)

② 排出量のCO₂換算値の算定

次の式を用いて温室効果ガスごとの排出量をCO₂の単位に換算します。

$$\text{『温室効果ガス排出量 (tCO}_2\text{)} = \text{温室効果ガス排出量 (t ガス)} \times \text{地球温暖化係数 (GWP) 』}$$

※GWP(Global Warming Potential): 温室効果ガスごとの地球温暖化をもたらす程度のCO₂との比(CO₂を1とした場合に、何倍の温室効果があるかの指標)

(5) ノーカーチャレンジ

焼津市役所では、地球温暖化防止の率先行動として、自動車及びオートバイ通勤を自粛し、徒歩、自転車、公共機関、又は相乗りを推進しています。ノーカーチャレンジ実施による二酸化炭素（CO₂）削減量（R4年度実績）は、21,603.0kgでした。

(6) 環境教育

自然観察

開催日	対象	内容	参加人数
8月6日	小学4年生～中学3年生	夏休み親子水生生物教室	12人
5月28日～ 3月26日	小学生	ふるさとジュニアカレッジ (東益津公民館)	468人
12月18日	市民	瀬戸川ウォーキング (大村公民館)	45人
計			525人

環境教育

開催日	対象	内容	参加人数
4月21日	藤枝特別支援学校焼津分校	ごみ減量と分別方法、生ごみ処理 容器キエーロについて	26人
6月6日	大井川東小学校5年生	地球温暖化防止について	58人
6月8日	わかしお学級(和田公民館)	ごみ減量と分別方法について	12人
6月9日	大井川大学(大井川公民館)	地球温暖化防止について	70人
6月15日	小川公民館	地球温暖化防止について	42人
6月16日	東益津小学校4年生	ごみ減量と分別方法について、ごみ 分別体験、パッカー車見学	74人
6月21日	港小学校4年生	地球温暖化防止、SDGsについて	91人
6月28日	小川小学校4年生	ごみ分別体験、パッカー車見学	115人
6月29日	焼津西小学校5年生	地球温暖化防止、SDGsについて	181人
7月1日	ほがらか学級(大村公民館)	地球温暖化防止、ごみ減量と分別 方法について	21人

7月5日	東益津中学校2年生	地球温暖化防止、SDGs、ごみ減量と分別方法について	60
7月12日	焼津西小学校4年生	ごみ減量と分別方法について、ごみ分別体験、パッカー車見学	142人
7月20日	ひまわりの会(北海道原集会所)	地球温暖化防止について	10人
8月4日	放課後こども教室	ごみ減量と分別方法について、ごみ分別体験、パッカー車見学	24人
8月10日	放課後こども教室	ごみ減量と分別方法について、ごみ分別体験、パッカー車見学	36人
8月25日	放課後こども教室	ごみ減量と分別方法について、ごみ分別体験、パッカー車見学	22人
9月6日	大富小学校3～6年5組	ごみ減量と分別方法について	15人
9月22日	黒石小学校4年生	アース・キッズチャレンジ	119人
10月21日	大井川西小学校5年生	アース・キッズチャレンジ	59人
10月30日	大住さくら会	ごみ減量と分別方法について	12人
計			1,189人
参加者延人数(自然観察+環境教育)			1,714人

環境教育の必要性

近年深刻化を続ける地球規模の環境問題は、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動やライフスタイルに起因していると考えられます。環境問題を改善していくためには、それらを見直し、できるだけ環境負荷が低くなる選択をしていくことが必要です。

各種の環境啓発事業や報道により環境問題への関心は高まりをみせ、『環境の保全が必要だ。』という認識は広まっています。ですが、『自分一人が何かしたところで...』『誰かが解決するだろう。』という意識も根強いように思われます。どんなに環境問題への関心が高く、見識が広くても、実際の行動がなければ環境問題の深刻化は止まりません。

個人と環境との関わりに対する理解を深め、具体的な行動に結び付ける意識を育てるために、環境問題について考えることを通じて、経済的側面以外の評価/判断基準をもつことや、地球規模で物事を捉える視野の広さをもつことの大切さを伝えることが、環境教育の重要な役割です。



▲アース・キッズチャレンジ